

擴張一件ノ新加盟団体ニ關スル件

我國労働運動ノ塔尖時代ニ於テハ社會主義者カ
勸争議ヲ利用シテ巧ニ労働者ニ意識ヲ傳テ所
ニ共產主義與政府主義ノ兩者ハ反ニ勢力擴張
意ニシタル労働組合内ニ暗勢力ヲ被シ裏面ヨリ
侵蝕シテ大正十一年秋大阪ニ於テル全國労働組
合聯合會發會式ヲ決裂ニ終ラシメタルガ亦亦合同
主義団体ト自由聯合主義団体トハ互ニ論難攻撃シ
テ其ノ責任轉嫁ニ努ムルト共ニ會勢擴張ニ奔命セ
リ即シテ管下ニ於ケル日本労働總同盟ヲ中心トス
ル合同主義派団体ハ會負數ニ於テ機械労働組合聯
合會ヲ中心トスル自由聯合主義派団体ニ比シ遠ニ

劣レルヨリ總同盟幹部等ハ労働中議天ノ労働會
於テ極力會勢擴張ニ奮心セル結果異常ノ發達ニ至
シ本年ニ入りテハ新組織加盟ノ外總同盟ノ及距離
係タリシ南葛労働會ハ去ル八月亦東京東部合同勞
働組合ト改稱シテ加入シタルハ既報ノ慶其後関東
機械工組合出版従業員組合共生會相次テ加盟シ時
計ニ組合及鉄道省被服廠現業員ニ依リ組織セル玄
憲労働義會外ハ団体ハ合同シテ近ク加盟申込ラテ
不可ク味シタルカ中亞団体タル芝浦労働組合ニ於
テモ昨年震災直後組合員多數解雇セラレ衰微甚敷
昔日ノ勢力見ルベクニ至ラズニ至レルヲ以テ幹部
佐藤陽ハ硬直改革等ハ屢報ノ如ク復活運動ニ努メ